

## 在住外国人支援スタッフ・ボランティア通訳のための 感染症（結核・HIV）通訳養成講座のお知らせ

多言語社会リソースかながわ（MIC かながわ）では、下記のとおり、厚生労働科学研究事業との連携により、感染症（結核・HIV）通訳養成講座を開催いたします。

この研修は、保健所などから外国人の感染症患者（結核とエイズ）を支援するための通訳の依頼を受ける可能性がある団体職員やボランティアスタッフを対象とし、感染症に対する正しい知識と的確な技能を持っていただくことを目標としています。このため、知識の習得を中心とした基礎講座と的確な通訳のできる技能を身につけるための実技演習の2部構成で実施します。

ご関心と意欲のある方々のご参加をお待ちいたしております。なお、参加費は無料です。

### 第1部 感染症通訳のための基礎講座

対象言語：どの言語でも参加可

日時：2017年11月18日（土）10:00～16:00

会場：東京八重洲ホール 2階 201 会議室

（東京駅八重洲中央口から徒歩約3分）

内容

#### 1 医療通訳に必要な結核・エイズの基礎知識

- ・結核・エイズの基礎知識
- ・感染症患者の心理と社会的支援
- ・保健所の仕事と結核・エイズ患者支援

#### 2 通訳技術の基本

講師：港町診療所所長 沢田貴志  
杏林大学保健学部教授 大木幸子  
杏林大学外国語学部教授 宮首弘子

定員：先着 40名

### 第2部 感染症通訳のための実技演習

対象言語：中国語、ネパール語、フィリピン語、  
ベトナム語

\*受講は第1部参加者に限ります。

日時：2017年12月9日（土）13:30～16:30

会場：東京八重洲ホール 2階 201 会議室

（東京駅八重洲中央口から徒歩約3分）

内容

#### 1 医療通訳の心得と役割

#### 2 通訳実技演習

- ・保健師の結核患者訪問時の通訳
- ・エイズの告知や治療場面での通訳

講師：港町診療所所長 沢田貴志  
杏林大学外国語学部 宮首弘子

定員：先着 30名

参加ご希望の方は、電子メールまたはファクスで、件名を「感染症通訳養成講座申込み」とし、①第1部のみまたは第1、2部両方、②氏名、③連絡先、④所属（団体等に所属している場合）、⑤通訳言語 を明記して、MIC かながわ事務局へお申し込みください。

申込み締切りは、11月9日（木）（第1部、第2部とも）です。ただし、定員に達した場合には締切り日前に受付けを終了します。

なお、この講座は、厚生労働科学研究費補助金による「外国人に対するHIV検査と医療サービスへのアクセス向上に関する研究班」の協力により実施します。受講者にアンケートへのご協力をお願いする場合があります。あらかじめご了承ください。

ご不明な点は下記 MIC かながわ事務局までお問い合わせください。



申込み・問合せ先：MIC かながわ事務局

電話：045-314-3368 ファクス：045-342-7918 メール：mickanagawa@network.email.ne.jp